

薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会新開発食品調査部会  
新開発食品評価第三調査会の設置について

1. 新設理由

近年、大豆イソフラボンを含む特定保健用食品や高濃度ジアシルグリセロールを含む食品、コエンザイムQ10を含む食品、アガリクスを含む食品等、新開発食品に関する安全性について、新たな知見に基づいたリスク評価、リスク管理が求められている。

こうした事案について、①必要に応じて専門的科学的な見地からの検討を行うとともに、②食品安全委員会から食品健康影響評価結果が通知された後に講じるべきリスク管理措置やその普及啓発方法に関する検討を行う。

2. 調査審議事項

新開発食品の安全性の確保等に関して、新たな知見を踏まえた管理措置等について、専門的科学的な検討を行う。

3. 運営方法

- (1) 本調査会は、分科会の委員、臨時委員及び専門委員の中から、分科会長が指名する6名の委員をもって構成する。
- (2) 調査審議に当たっては、議題の内容及び性格などに応じて、部会長の判断により、他の委員又は参考人に出席を求めることとする。

4. 委員構成

井藤 英喜 (いとう ひでき)	東京都老人医療センター院長
井上 達 (いのうえ とおる)	国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター長
廣瀬 雅雄 (ひろせ まさお)	国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター病理部長
丸井 英二 (まるい えいじ)	順天堂大学医学部教授
山添 康 (やまぞえ やすし)	東北大学大学院薬学研究科医療薬学講座 薬物動態学分野教授
吉池 信男 (よしいけ のぶお)	独立行政法人国立健康・栄養研究所 研究企画・評価主幹